

平成 28 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	02	01	06	124230	シティプロモーション推進事業	
総合計画	分野	地域づくり				
	政策	4-1	地域主体のまちづくり			
	施策	1	地域づくりへの参加促進			
目的	花巻市の移住先としての首都圏の認知度を向上させるために、市民とともに魅力発信を行う。					
対象	移住希望者、市民					
意図	花巻市民が自分の住む町の魅力を再認識し、その魅力を発信することにより花巻市が移住先として認知される。					
事業概要	…上記目的を実現するための事業手法を記載すること					
<ul style="list-style-type: none"> ●花巻ブランドスクールの実施 市民参加型の花巻の魅力を共有、発掘するワークショップ等を開催する。 市民が魅力を発信するスキルを学ぶ機会を提供する。 ●メディアプロモーションの実施 市民にしかわからない花巻の魅力や実際に市民が主体的に取り組んでいるプロジェクト等を発信する場として、ウェブサイトを構築の上、公開する。 ●首都圏プロモーションイベントの開催 市の魅力を発信するイベントを首都圏で開催する。 						
市民参画の有無 [対象外]						
市民協働の形態		共催		実行委員会・協議会		
		後援・協賛		補助・助成		
				○ 事業協力・協定		
				委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
①	市民参加型ワークショップ開催回数	回	計画		6	
			実績		5	
②	プロモーションイベント開催回数	回	計画		3	
			実績		2	
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
①	ワークショップ延べ参加者数	人	目標		100	
			実績		91	
②	プロモーションイベント延べ参加者数	人	目標		200	
			実績		550	
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		○	概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
市の魅力を発信したいという市民が想像以上に多数おり、魅力を発信するための手法などを学ぶ機会を提供したワークショップ等はそのニーズに合致したところから概ね目標を達成した。またシティプロモーションイベントについても、イベント数ではなく集客力のあるイベントに出展したことから目標値を上回る成果を得ることができた。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	シティプロモーション事業は、移住希望者に対して花巻市を移住先として認知してもらうための事業であることから、妥当である。
	○ 妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	市民が自分の住む町の魅力を再確認し発信する魅力を認識した場合、ワークショップ等への参加者の増加が見込まれ、そのワークショップで様々な魅力が見つかり、効果的に発信できれば首都圏での参加者の増加も見込まれる。
	○ 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	市民が参加しやすいワークショップの運営や首都圏での魅力的なイベント企画を行うためには、専門的なスキルを有する企業等との連携が必要であり、先駆的な事業を構築するために事業費の削減の余地はない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	受益と負担の適正化余地	市民の手により、市の魅力を再認識し発信する事業を行うために市民の発信能力を向上させることは重要であり、それについて学ぶ機会を提供することにより、花巻市を発信する人数が増加することから適正である。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
○ 適正である		
総合評価 …上記評価結果の総括		
移住希望者に対して花巻市を移住先として認知してもらうために、市民が主体的に情報発信できるスキルを学ぶ機会を提供し、スキル向上につながった。またスキルを学んだ市民が情報発信するメディアを作成したことにより、1か月で約600人の新たなフォロワーを獲得でき、花巻市の魅力発信につながった。		

平成 28 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-ド	事業名
一般	02	01	06	124230	シティプロモーション推進事業

単位：千円

		27年度 決算額(A)	28年度 決算額(B)	29年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費			8,997		8,997
財源内訳	国・県				
	地方債				
	その他		432		432
	一般財源		8,565		8,565

事業期間	○	単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---	-------	------	-----------------

部重点施策における目標

移住・交流の推進

事業開始の背景・経緯

首都圏で開催される移住定住をテーマとしたフェア等において、花巻市の移住先としての認知度は低い。また市民による花巻の魅力の掘り起しと情報発信が不足している。

事業概要

- 花巻ブランドスクールの実施
市民参加型の花巻の魅力を共有、発掘するワークショップ等を開催する。
市民が魅力を発信するスキルを学ぶ機会を提供する。
- メディアプロモーションの実施
市民にしかわからない花巻の魅力や実際に市民が主体的に取り組んでいるプロジェクト等を発信する場として、ウェブサイト構築の上、公開する。
- 首都圏プロモーションイベントの開催
市の魅力を発信するイベントを首都圏で開催する。

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

- 移住定住に向けたブランディング化を図るプロモーションを行うために、ワークショップ等については性別・年齢・職種などさまざまな立場の市民の意見を聞き進める必要があることから、参加メンバー募集について留意し進める必要がある。

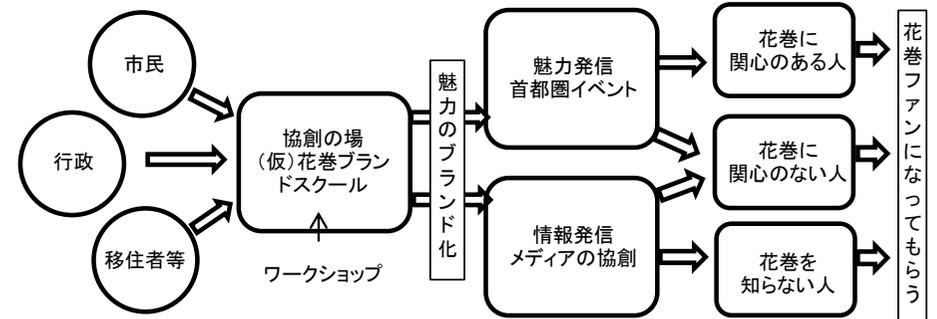
担当部署 部名 地域振興部 課名 定住推進課 担当係長 高橋信一郎 内線 213

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

※花巻市まち・ひと・しごと総合戦略掲載事業

◆事業概略図



◆事業費内訳 総事業費 8,997 千円

- 8,997 千円
- (内訳) 旅費 305 千円(職員旅費)
 - 委託料 8,498 千円(イベント等企画運営業務委託料等)
 - 備品購入費 194 千円
 - (概要) ●花巻ブランドワークショップの開催(11月、12月 計3回)
講師を迎え、魅力発信手法やブランド形成事例を紹介し、花巻の魅力と課題を発見するワークショップを開催した。
 - メディア制作講座(1月、2月 計2回)
シティプロモーションサイトを制作するにあたり、実践的な講座を実施。また市民ライターとして活動していただける方の募集を併せて行った。
 - シティプロモーションサイト「まきまき花巻」の構築及び公開
市民参加型の花巻WEBマガジン「まきまき花巻」をリリース。市民ライターは9名登録で4月20日現在で4,000PVの閲覧があった。
 - 首都圏イベントの開催(2月、3月 計2回)
「岩手わかすフェス」(東京都千代田区)、「まきまき花巻」公開イベント(東京都千代田区)の計2回、首都圏で花巻の魅力を発信するイベントを開催した。